

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域に根ざした密着型のサービスを提供できるよう引継ぎ時管理者(職員)より理念の確認を行い、地域へ会報による啓発活動を行い、職員の意識を高めている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>1日3回の引継ぎ時確認し合い実践に取り組んでいる。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>家族・地域に対し啓発活動として、定期的に会報を配布・回覧し事業所の理念を理解してもらえよう取り組んでいる。 又、運営推進会議でも伝え理解を図っている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。</p>	<p>地域交流については定期的開催し(語り部・獅子舞踊り・よさこい見学など)地域住民の方々の参加を募っている。事業者は地域の一員として小学校の行事(運動会・学習発表会等)に見学参加するという活動も行っている。又、地域の公民館祭りにも作品を展示してもらい見学を兼ね参加している。バックアップ施設(特養)と連携し行事(納涼祭)での地域交流を行っている。その他、地域での活動があれば参加させてもらえるよう依頼し地域との連携も図っている。</p>	<p>今後も継続し地域の方々との交流を通し理解を深めていけるような取り組み、又、G・Hからの働きかけにも、一層努めて行く。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
11	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
15	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>16 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職を最小限にとどめ、併設施設から顔なじみの職員を異動したりする等、利用者へのダメージを防いでいる。</p>		
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>17 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年度の研修予定、個々の職員に必要な研修の機会を設けている。また、グループホーム内部の勉強会、資格取得の為にホーム全体での勉強会を実施している。</p>		
<p>18 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>認知症実践者講習の参加や、実習を受け入れ、認知症介護ネットワーク推進研修や見学を通じ交流の機会を持ち、サービス向上の取り組みをしている。また、同法人グループ等との交流も行っている。</p>		
<p>19 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>母体施設職員との親睦会、スポーツや飲食の機会を通してストレス解消を図り良好な環境作りを行っている。</p>		
<p>20 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>日誌や口頭により状況を把握し、必要に応じ適切なアドバイスをしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	<p>初期に築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談受け入れ時より、本人、家族双方から困っている事や、思いを聞いている。必要に応じGH職員も利用前であっても話を聞く機会を設けたり、館内の見学も受け入れている。</p>	
22	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>出来る限り、初期ニーズに応えながら、状況に応じてカンファレンスを実施し、必要な支援の見極めをしている。</p>	
23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>気の合う利用者とする場面作りや、茶話会等で他利用者との交流、家族との密な連絡、報告、相談により徐々に馴染めるような工夫をしている。日常の談話の中から本人の想いを汲み取り安心できる様支援している。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人と一緒に過ごし、畑や料理、懐かしいお菓子等を学ばせてもらい、支えあう関係を築いている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方との連絡、報告を密にし相談しながら、本人が安心、安全で馴染みの暮らしができるように支援している。		
26 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族と利用者の間に入り、双方共に理解し合えるように配慮をしている。その為、良好な関係を築けている。		
27 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人、相手の希望があればいつでも面会が出来る体制である。また、電話も相手にご迷惑でなければ自由に使えるような支援をしている。自宅訪問や馴染みの店、理容店等の外出の支援をしている。		
28 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	関わりが上手く出来ない方については、場面作りをしたり、職員が間に入り孤立しないよう支援し、利用者同士の関わり合いが出来るように努めている。		
29 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院などで利用が終了しても面会をし、家族、本人との関りを継続している。また、地域住民としての交流もある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>把握に努め、ケアプランにも取り入れて、生活の継続が出来るよう支援している。</p>	
31	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>センター方式アセスメント表を使用し出来る限り生活歴を把握しその人らしい暮らしが継続出来る様に努めている。特に新規入所者については日常のコミュニケーションから、情報収集に努めている。また、御家族の協力も得ている。</p>	
32	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日々の心身の状況に合わせ、快適に過ごせる様、総合的判断を把握するよう努めている。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人の状況を踏まえた上で、本人・家族の意向を汲みながら、カンファレンス・気付き・ミーティング等で介護計画を作成している。家族へは、更新時アンケート・お便り・面会時に要望など募っている。</p>	
34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的見直しは勿論の事、身体機能低下等の変化に応じ速やかに関係者と話し合い現状に合った介護計画を作成している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>35 個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>各職員とも記録に残し共有できる体制になっている。また、必要であればミーティングを行い、実践変更や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
<p>36 事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>受診・役所関係・自宅訪問・買い物などニーズに伴い個別に対応している。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
<p>37 地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地区の敬老会は民生委員と協力し本人の意向にそい参加している。他の事柄についても意向・必要性があれば地域資源の活用を考慮している。</p>		
<p>38 他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>入所者の入院による退所の際、他のサービス利用の支援に努めている。また、今後も本人の意向・必要性があれば、地域資源を活用していく。</p>		
<p>39 地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>今後本人の意向、必要性があれば協働していくつもりである。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>40</p> <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前かかりつけ医がある方は、継続し受診支援し、体調変化など状況報告し、指示を仰いでいる。</p>		
<p>41</p> <p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>精神科嘱託医の定期的な回診があり、少なくとも年2回は診察してもらう。また、必要に応じ回診もあり、相談をしたり、治療、診断、助言等を受けられるよう支援している。</p>		
<p>42</p> <p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>医療連携体制をとっており、毎日看護師が来園し体調管理をしている。気軽に相談をしたり、助言、処置が受けられるように支援している。</p>		
<p>43</p> <p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院した場合は、家族を交え、早期退院に向けた支援をすると共に、情報交換をし利用者が安心して過ごせるよう支援している。</p>		
<p>44</p> <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合における対応の指針があり、それに基づいた対応をしている。</p>		
<p>45</p> <p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>重度化、終末期になった場合は、利用者の状況に応じ、併設施設の協力を得てより良く過ごせるように支援している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>46</p> <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>家族、ケアマネージャーまたは、前居住地職員と情報交換し、ダメージを防ぐように努めている。また、馴染みの家具(タンス等)を使用でき、安心して過ごせるようにも支援している。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>47</p> <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々に合わせた言葉掛けや、対応に努めている。また、記録等の取り扱いにも配慮をしている。</p>		
<p>48</p> <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>個々に合わせた説明のしかたや情報提供をし、納得した上で自己決定が出来るよう働きかけている。</p>		
<p>49</p> <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的には個別対応ニーズに応じ対応している。季節的なものは情報として予定に取り入れているが参加は自由である。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>50</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>個々の希望する理美容院への外出を随時実施している。場面に合わせた服装や着合わせの援助、繕いや不足品購入等の援助も実施している。着衣の身繕い介助、助言等の支援もしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け、配膳、片付け等を職員と共に実施する。また、3食とも利用者と食しており会話などで食欲が進むような配慮をしている。利用者の好みのメニューでの食事作り、菜園から採れた野菜等を料理し、一緒に食したりし楽しみながら食事をしている。		
52 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲料類については、嗜好に合わせた物を準備し提供している。おやつについては希望を募ったり、一緒に買出しをしている。また、好みに合うお菓子作りも行っている。個別に購入し嗜好品を楽しんでいる方もいる。		
53 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりに合わせ必要な方は、夜間トイレ設置やチェックリストを作成し排泄パターンの把握に努めている。それに伴い誘導、前後の身繕いを行いオムツ使用の減少があり快適に過ごせるよう支援している。		
54 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴順、時間帯、相性等の配慮をしている。希望に合わせて個々にゆっくりとした時間をとっている。必要時シャワー浴も働きかけている。また、足浴も毎日実施している。		
55 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動量と夜間の状況をみながら生活リズムを整え安眠できるように配慮している。また、多動傾向、緊張、疲労の程度に応じ身体の休める場面作りを個別に援助している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	カレンダーめぐり、新聞受取り、花への水撒き、玄関掃除、館内清掃等自主的に分担し行われている。週刊誌、テレビ等も自由にみている。また、畑、花壇にも自由に行き、気晴らしが出来るような配慮をしている。場面作りを要する方には配慮をしている。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個々の能力に合わせた援助をしている。また、しまい忘れ等がある方には、職員の方で残金を把握出来るように援助している。</p>		
58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>個別の買い物や、その時の希望によりドライブ、足湯外出、山菜取り等を実施している。</p>		
59	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>希望がある方には出来るだけ対応しており、海、祭り、水族館やねぶた祭り等に行っている。希望を出せない方については、日頃の会話やアドボカシーによって想いを汲み取り自宅訪問、家族の畑の訪問を行っている。家族との外出はいつでも受け入れ態勢でありそのことも伝えている。奥様の面会や墓参り等がある。</p>		
60	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人が自ら電話することはもちろん、要望があれば番号を調べ、ダイヤル、内容の聞き取り等の援助をしている。手紙についても出したいが書けない方等に対しては希望があれば行うようにしている。いつでもやり取りできる支援体制でいる。</p>		
61	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>申し出があればいつでも宿泊できる事は入所時に伝えており、利用例がある。また面会時、時間を設けずいつでも来所しゆっくりと過ごして頂けるよう配慮している。来所時はお茶を提供し気軽に近況を伝え合うことが出来る環境にある。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束を行わないという事を全職員が認識しており具体的な事例も挙げケア実践に取り組んでいる。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ施錠。朝は利用者が開けている。日中は自由に洗濯干し場や、前庭に出入りできる環境である。又、外出傾向の把握に配慮している。		
64 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	共有スペースに常に職員が居る様配慮し所在確認に努めている。又、夜間は定期的に見回り実施。		
65 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管場所、管理方法を工夫したり危険回避困難なものについても置き場所の変更など工夫している。		
66 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書にまとめ再発防止の話し合いを行っている。また緊急連絡体制があり法人全体で対応できるよう配慮されている。その他に、起こりうるリスクと対応について話し合い防止に努めている。		予想されるリスクについて全職員で話し合いリスク表を作成し事故防止に日々取り組んでいる。今後も継続して行く。
67 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全職員が、救急救命講習を受けているほか、最低限のマニュアルは用意され定期的に見直しを実施している。又、状態に応じた防止策も都度配慮している。		
68 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけをしている	母体施設や法人施設があり母体施設を中心に協力を得られる。又、地域の協力の得られる体制はある。緊急連絡体制もある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> <p>家族・本人へ説明し危険防止を図り快適に暮らせるよう話し合い対応している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>状況変化は引継ぎ時報告。必要に応じ看護師に相談・受診する。また、小さな紫斑や変化についても記録に残している。</p>		
71	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>薬は一覧表を作り(作用も含む)チェックしている。服薬時声に出し、名前・時間を確認し手渡し確実に服用できるように支援している。一人で服用できない方には介助している。</p>		
72	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>必要な方へはチェックリストを作成し確実に摂水されていることを確認している。水分強化の促しや食事の工夫・医務に相談し対応している。又、運動・散歩などの促しや支援している。</p>		
73	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>介助を要する方については食事後個々に応じた支援をしている。</p>		
74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>副食については併設厨房より栄養バランスの摂れた物が提供されている。それぞれに応じた量の加減を配慮。又、体調不良時には状況に応じ配慮している。水分も必要に応じ助言している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防対応ファイルあり、いつでも確認できる体制である。また、実行もしている。外出後のうがい・手洗いも実施している。		日頃から手洗いうがいの徹底、トイレ・手摺り・ドアなどの消毒を行い予防に努めている。又、マニュアルも作っている。職員・利用者もインフルエンザ予防接種を受けている。内部研修で全職員新型インフルエンザについて知識を深め取り組みを行っている。今後も継続して感染症予防に努めて行く。
76 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	徹底した手指消毒実施。消費期限の確認、残食の処分など徹底し、布巾・まな板の毎食後のハイター漬け消毒、必要に応じ食器のハイター消毒を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
77 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	プランター、花壇、表札等手作りの物を活用している。建物の周囲には果樹を植え、前庭にはベンチを置いている。ベンチはくつろぎの場としてよく活用されている。		
78 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	TVの音も場面に合わせ調整している。会話のスピード、トーンにも配慮している。日差しについては、カーテンはもちろん、天窓にフィルムを貼り対応している。清掃時必要に応じ換気を行う。玄関、テーブルには自分達の育てた花を飾ったり、手芸等で作ったものの掲示を行い、居心地良く過ごせるよう配慮している。		
79 共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にベンチを置いたり、畳敷きのスペースやソファー等を設置し、いつでも気の合う仲間同士で過ごせるように工夫している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
81	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
82	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
83	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
84	<p>建物の活用</p> <p>建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に 印をつけてください)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

認知症について、療法プログラム(学習・音読など)を取り入れ緩和を図っている。立地条件を活かし、山菜採りを行い、昔ながらの料理を一緒に作ったり、菜園・果樹づくりを行い、収穫の喜びを味わうと共に、馴染みの生活が継続できるように取り組んでいる。又、グループホームで地域交流の一環としての行事を行い 地域の方々に参加頂き交流を深める取り組みも図っている。買い物や美容院・床屋も馴染みのところを利用したり、小学校・公民館行事への見学や参加を取り入れている。運営推進会議にも地域の代表も参加くださり意見交換や助言を頂き理解を図ると共にサービスの質の向上に向けている。